

資料

地域でのボッチャの普及促進と理学療法士の可能性

松田 忠司¹⁾, 明崎 禎輝²⁾

Promotion of participation in boccia in the community and the potential of physical therapists

Tadashi Matsuda, PT¹⁾, Yoshiteru Akezaki, PT, PhD²⁾

要 旨

ボッチャは、重度の脳性麻痺者のために考案されたスポーツであるが、今日では脳性麻痺者だけでなく四肢の重度機能障がい者が参加できるパラリンピックの正式種目である。地域では、理学療法士が責任者となり、ボッチャ大会の実施や審判として活躍するケースがある。地域のボッチャ普及に理学療法士の関わりが増えることは、障がいのある人のスポーツへの参加促進と健康増進に好影響を及ぼすことが考えられる。

キーワード：ボッチャ，参加，理学療法士

Abstract

Boccia is a Paralympic sport played by athletes with severe neurological impairments affecting all four limbs. In some communities, physical therapists take on the responsibility of organizing boccia tournaments and also act as referees. Increasing the involvement of physical therapists in promoting boccia within the community is thought to positively influence the participation of individuals with disabilities in sports and contribute to the promotion of their health.

Key words : Boccia, Participation, Physical therapist

ボッチャの紹介

1. ボッチャとは

ボッチャは、ヨーロッパで生まれたターゲットスポーツで、的になる白いボール（以下、ジャックボール）に赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを、投げたり、転がしたりすることで、いかにジャックボールへ近づけるかを競うスポーツである。対象者は、障がいによりボールを投げることができなくても、ランプ（勾配具）（図1）を使い、自分の意思をラン



図1 ランプ（勾配具）

1) 吹田市立障害者支援交流センターあいほうぶ吹田 リハビリテーション部

Department of Rehabilitation, Suita Municipal Disability Support Center I-Hope Suita

2) 高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

Division of Physical Therapy, Department of Rehabilitation, Faculty of Rehabilitation, Kochi Professional University of Rehabilitation

*Correspondence : qqae6c wd@yahoo.co.jp

プロオペレーターに伝えることが可能であれば参加できる¹⁾。

2. クラス分け

全てのクラスに共通していることは、四肢に重度機能障がいがあるという点である。その中で、障がいの程度により、『BC1』～『BC4』の4つのクラスに分かれて競技を行う。脳性麻痺などの脳原性疾患はBC1とBC2クラスに分類され、障がいの程度が車いす操作不可である者（BC1）と、ある程度可能である者（BC2）に分けられ、BC1とBC2クラスのいずれのクラスにおいても自身で投球する。筋ジストロフィーや頸髄損傷など非脳原性疾患を対象としたクラスはBC4であり、自身で投球する。BC3は脳原性疾患と非脳原性疾患のどちらも対象としており、自身で投球するBC1・2・4との違いは、麻痺により自身で投球ができないことである。そのため、対象者はランプとランプオペレーターを使用して競技に参加する。このBC3選手は、ランプオペレーターに指示を出してランプの方向や角度を調整する。ランプとランプオペレーターは選手の手の一部のようにコントロールすることが求められる。BC3のランプオペレーターは競技の間は、振り返ってコートを見ることやランプオペレーターから選手に話しかけることはできない。

日本では、障がいがBC1からBC4より軽度な選手を対象としたオープンクラスが設けられており²⁾、地域の中で、障がいのある者の社会参加を後押しする意義のあるクラスだと感じている。

3. ゲームの流れ

使用するコートは幅6m×奥行12・5mのサイズである(図2)。この大きさは、バドミントンコートに近い。競技で使用するカラーボールは赤色と青色の2種類である。赤色のボールを投げるのは先攻側となっている。初めに的となるジャックボールを投げ、続けて1投目の投球を行う。次に後攻側が最初の投球を行う。それ以降は、ジャックボールからより遠い位置にボールを投げた側の選手がその次の投

球を行う³⁾。試合進行を担う審判は、ジャックボールから遠い位置のボールを特定し、次の投球を指示する²⁾。赤、青ともに6球ずつを投げた時点で得点を計算する。得点計算の手順としては、まずどちらの色のボールがよりジャックボールに近い位置にあるかを特定し、勝ち負けを確認する(図3)。次に点数を計算する。これは、負けた色のボールで最もジャックボールに近いボールを1球特定し、その1球よりもジャックボールに近い勝った側のボール数が点数になる(図4)。この一連の流れを1エンドとし、個人戦とペア戦は4エンド、チーム戦は6エンドを行う³⁾。



図2 コート

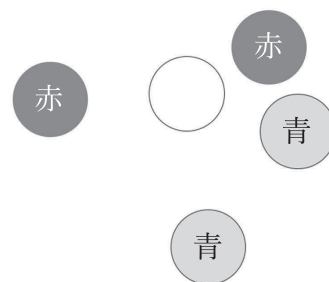


図3 ジャックボールに近い方が勝ち。例。赤サイドの勝ちの場面

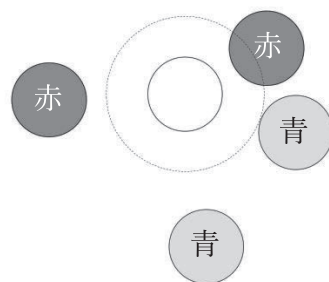


図4 得点計算方法 赤1点—青0点

ボッチャの普及と理学療法士の可能性

1. ボッチャの大会運営

特定非営利活動法人である吹田ボッチャの会では、理学療法士が責任者となり、会員のための定例の練習会、地域での体験会、道路の清掃活動を軸として、主催のボッチャ大会（吹田市後援）を開催している。2017年に第1回目を実施し、2023年12月には第5回目が実施された。一般社団法人日本ボッチャ協会（以下日本ボッチャ協会）の会員で公認審判員として活動している理学療法士により、吹田ボッチャの会が主催する大会実施のための審判員養成講習会が開催され、ボランティア養成がされている（図5）。このことから、理学療法士が主となり、ボッチャに興味のある者が参加できる環境を構築する取り組みが実施されている。

2. パラリンピックなどボッチャ競技への関わり

2021年には東京2020パラリンピックのボッチャ競技では、試合を進行する審判員・線審・計時の仕事に理学療法士も協力しており、最高峰のパラリンピックでのボッチャ競技においても、理学療法士の活躍が広がっている。日本ボッチャ協会が主催する日本ボッチャ選手権大会などで審判（線審含む）業務をするためには、前提として審判員の資格が必要である。日本ボッチャ協会は、公認審判員資格制度を定めている⁴⁾。審判の種別はAからD級までに区分されており、それぞれに認定要件と技能の範囲が決められている。資格取得のためには、日本ボッチャ協会への入会や、協会が指定する審判員養成講習会に参加することが必要である。



図5 審判員養成講習会の様子

3. 理学療法士の関わり方の意義

理学療法士は、ボッチャの練習場面では、対象者の姿勢や投球動作の評価といった競技パフォーマンス向上を指向した介入に、理学療法士の専門性を応用することは可能である。しかし、ボッチャの実施において、生活の中にボッチャに参加しやすい環境が整備されていない場合、興味のある者でも実施が困難である。そのため、理学療法士が指導者や施設の確保などの「環境」整備を行い、参加へのバリアを軽減することも可能と考える。

ボッチャを競技としてだけでなく、健康増進や集まりの場として活用することで、障がいをも有していない地域住民の参加を促進することが可能である。理学療法士は、健康増進、疾患予防に働きかけることも必要であり、ボッチャを通じた社会貢献活動の広がりが期待される。

おわりに

理学療法士は障がいをも有する者に対するリハビリテーションの専門職種であり、パラスポーツに関わることで障がいのある者の社会参加を上げるとともに、自身の能力を高めていくことが期待できる。その点では、直接的な身体機能評価に基づく理学療法を狭義の理学療法とした場合、理学療法士による社会参加のための環境作りは、我々の職域を開拓する意味でも広義の理学療法と言えるかもしれない。

謝辞

私は、日本で先駆けてボッチャを普及してこられた日本ボッチャ協会関係者の方々のご支援のおかげで、吹田でも円滑に有意義な取り組みができてきたため、今日までのご支援に感謝いたします。

文献

- 1) 一般社団法人日本ボッチャ協会：ボッチャとは。
<https://www.japan-boccia.com/about/>（閲覧日2023年12月3日）
- 2) 片岡正教：リオパラリンピックレポート：東京パラリンピックへの道 ボッチャ。総合リハ45

- (4) : 367-371, 2017.
- 3) 公益財団法人日本パラスポーツ協会：かんたんボッチャガイド. 東京, 2022, pp1-14.
- 4) 一般社団法人日本ボッチャ協会：公認審判員規程・公認審判員の服装に係る規定・公認審判員資格規定・(別表1).